

平木コレクションによる



# 前川千帆展



## センパンさんのぼのぼの 版画ワールド

会期=2021年7月13日(火)―9月20日(月・祝)

前期:7月13日(火)―8月15日(日)

後期:8月17日(火)―9月20日(月・祝)

開館時間=10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで)

※入場受付は閉館の30分前まで

休室日=8月2日(月)、9月6日(月) ※休室日8月16日(月)

観覧料=一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、

小・中学生、高校生無料

※「前川千帆展」と「江戸絵画と笑おう」の共通チケット

※「江戸絵画と笑おう」のみご観覧の場合は、一般500(400)円、大学生400(320)円

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※( )内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチ

ケット(Lコード:35076)、セブンイレブン(セブンチケット)、

千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」

「千城台駅」の窓口にて7月12日まで販売(7月13日以降は当

日券販売)。

☆リピーター割引 本展チケット(有料)半券のご提示で2回

目以降の観覧料半額

☆ナイトミュージアム割引 金・土曜日の18:00以降は観覧料

が半額になります

☆本展チケットで同時開催「江戸絵画と笑おう」および、5

階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけ

ます

※割引の併用はできません

主 催 千葉市美術館

協 力 公益財団法人平木浮世絵財団



前川千帆《少女》1927年頃 公益財団法人平木浮世絵財団蔵

2021  
7.13(火) → 9.20(月・祝)

## 江戸絵画と 笑おう



明治の戯画も大活躍!

※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。  
・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。

## 前川千帆展 概要

前川千帆（1888-1960）は、恩地孝四郎・平塚運一とともに「御三家」と称された、近代日本を代表する創作版画家です。京都に生まれ、漫画家として名を成すかわら木版画を手がけ、清澄な彫摺と躍動感のあるユーモラスな造形により独自の作風を拓いたその作品は、今なおお色褪せない魅力を有します。また近年、日本のアニメーション草創期に少なからぬ役割を果たした事実も掘り起こされ、マンガやアニメがクールジャパンの象徴として評価される今こそ再検証すべき作家と言えるでしょう。1977年にリッカー美術館で開催された「前川千帆名作展」以来、実に44年ぶりの大回顧展となる本展は、浮世絵の大コレクションで知られる公益財団法人平木浮世絵財団の所蔵品を中心に、約350点の作品から前川千帆の版業を総覧いたします。庶民のつましくも平和な日常に温かなまなざしを注ぎ、時にほのぼのと、時にしみじみと、人や街、温泉地を刻んだセンパンさんの作品世界を、どうぞお楽しみください。

\*会期中、展示替を行います。

## 前川千帆略歴



|                  |   |
|------------------|---|
| 明治 21 年 (1888)   | 10月5日 京都市に生まれる。                         |
| 明治 40 年 (1907)   | 関西美術院にて、浅井忠、鹿子木孟郎に師事。                   |
| 明治 45 年 (1912) 頃 | 上京、東京バック社に入社、漫画を手がけはじめる。                |
| 大正 6 年 (1917)    | 読売新聞社に勤務。幸内純一とともにアニメーションの制作を手がける。       |
| 大正 8 年 (1919)    | 第1回日本創作版画協会展に出品、木版画の創作活動をはじめる。          |
| 昭和 12 年 (1937)   | 新聞雑誌の挿絵、漫画も盛んに制作、連載漫画「あわてものの熊さん」が人気となる。 |
| 昭和 20 年 (1945)   | 岡山県久米郡に疎開。                              |
| 昭和 25 年 (1950)   | 疎開先から上京、杉並区に居住。                         |
| 昭和 35 年 (1960)   | 棟方志功らとともに日本版画会（日版会）を創立。11月17日没（享年72歳）。  |

## 前川千帆展 見どころ

### ●創作版画「御三家」のひとり、前川千帆。44年ぶりの大回顧展！

恩地孝四郎、平塚運一とならび、日本近代の創作版画御三家の1人と称される前川千帆。日本版画協会展や官展などに木版画を発表し続け、創作版画的普及につとめました。本展は、1977年にリッカー美術館で開催された「前川千帆名作展」以来、44年ぶりの大回顧展となります。主要な版画作品以外に、最初期の新聞・雑誌投稿時代の作品から、漫画原画や版本の草稿、版木などさまざまな資料とともに約350点を紹介します。

### ●知られざるマンガ家としての活躍、ジャパ・アニメーションとの関係とは。

版画家の前に、漫画家として活躍していた前川千帆。岡本一平らと同時代に活躍し、当時の漫画界では欠かせない存在でした。なかでも読売サンデー漫画での連載漫画《あわてものの熊さん》が大ヒット、映画化のほか、芝居や紙芝居にもなりました。また、日本アニメーション映画の先駆けとされる「なまくら刀」で作画に関わっていたことが近年の研究でわかっています。本展では当時のアニメーション映画で唯一フィルムが現存している「なまくら刀」を上映するほか、千帆の連載漫画の掲載紙も展示されます。

### ●温泉に風光明媚な景勝地…センパンさんのほのぼのの版画ワールドで旅気分。

人里離れた静かな宿、誰もいない早朝の静かな温泉に出会ったような、清らかな空気感をたたえた作品など、前川千帆の版画作品には、創作版画らしい彫りのキレ、澄んだ色など造形的な美しさがあり、版画の素朴な魅力にあふれています。

旅に出ることが難しいこのご時世、センパンさんのほほえましい作品たちをめぐりながら、旅気分をお楽しみください。

## 江戸絵画と笑おう 概要

「江戸・明治の絵画」というと、難しくとっつきにくいイメージがあるかもしれませんが。そこで本展では千葉市美術館のコレクションの中から「笑い」をキーワードとして、現代の私たちにも自然に楽しめる、親しみやすい作品を集めてみました。

犬や猫たちの無敵のかわいさに「うふふ」と頬がゆるむ動物画、ウィットに富む図柄に思わず「くすり」とさせられる戯画、ユーモアを交えて教義を伝える禅画など、その魅力は実に様々です。夏の暑さに疲れたら、美術館でほっこり一休み。多彩な作品と触れ合う、和やかなひと時をお楽しみください。

※会期中一部展示替えを行います。

## ■ 展覧会関連イベント

内容やイベントが変更になる場合があります。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

### 前川千帆展

#### ■ 講演会「前川千帆と温泉へ行くー版画浴泉譜の世界ー」

講師: 森山悦乃(公益財団法人平木浮世絵財団主任学芸員)  
7月25日(日) 14:00- (13:30開場予定) 11階講堂にて/先着60名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料  
\* 当日託児サービス(事前申込制)があります。詳しくは美術館ホームページをご確認ください。

#### ■ オンラインワークショップ「手の中で動きだす! ぱらぱらマンガをつくってみよう」(事前申込制)

講師: あしたのんき(アニメーション画家)  
8月22日(日) 13:00-15:45 5階ワークショップルームにて/定員20名  
対象: 小学3年生以上/参加費: 300円(材料費込)  
\* 詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。

#### ■ 市民美術講座「前川千帆の木版画ーほのぼの版画ワールドへようこそー」

講師: 西山純子(当館上席学芸員)  
9月11日(土) 14:00- (13:30開場予定) 5階ワークショップルームにて/先着40名/聴講無料

#### ■ 「美術館で縁日気分!!」

8月15日(日) 13:00-16:00(予定)/1階さや堂ホールにて

### 江戸絵画と笑おう

#### ■ お楽しみ動画「どこでもえどわら!」を大公開!

ご自宅から展覧会を楽しむワンポイントをご覧ください。

#### ■ オンラインワークショップ「うきうき浮人形ーつくって浮かべてあそぼう」

江戸の子どもたちは、人形を水に浮かべて楽しんでたよ。つくって遊んでみよう!  
開催期間: 7月13日(火)-9月20日(月・祝)  
対象: どなたでも/参加無料

#### ■ 「えどわんグランプリ2021」

展示作品の中で、あなたのツボを押したのはどれ? 推しの一品を選んで投票しよう。  
投票受付期間: 7月13日(火)-9月12日(日)/結果発表: 9月13日(月)  
対象: どなたでも/参加無料  
\* 会場・オンラインどちらでも参加可能です。  
\* 結果は会場と美術館ホームページで発表します。

## ■ 記者レクチャー・内覧会

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

### 7月12日(月) 15:00-17:00 (14:30開場) / 8階展示室にて

参加ご希望の方は、同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。

## ■ 同時開催

#### 5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」

5階常設展示室  
[休室日] 第1月曜日 [観覧料] 一般300円 大学生220円(企画展ご観覧の方は無料)

#### 「つくりかけラボ04 飯川雄大 | デコレータークラブー0人もしくは1人以上の観客に向けて」

7月14日(水)-10月3日(日) 4階子どもアトリエ  
[休室日] 第1月曜日 [観覧料] 無料

## ■ 次回展予告

2021年10月 2日(土)-12月19日(日) 「福田美蘭展」(仮称)

2021年10月16日(土)-12月26日(日) 「つくりかけラボ 05 松本力 | SF とりはうたう ひみつを」



## 広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

### 前川千帆展



1. 《少女》1927年頃 公益財団法人平木浮世絵財団蔵



2. 《屋上風景》1931年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵



3. 《湖の見える室》1932年頃 千葉市美術館蔵



4. 《山雀と少女》1955年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵



5. 《朝の浴場》1951年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵



6. 《新京の影画芝居》1958年  
公益財団法人平木浮世絵財団蔵



7. 《のじり湖》(『幼年の友』第16巻第8号)  
1924年 個人蔵



8. 《おてんばチャッピー6》(『よみ  
うり少年新聞』103号、1934年7月8  
日) 夜鳥文庫蔵

### 江戸絵画と笑おう



9. 中村芳中『光琳画譜』より 享和2年(1802)刊  
千葉市美術館(ラヴィッツ・コレクション)



10. 仙厓義梵《鍾馗図》江戸後  
期 旧ピーター・ドラッカー山荘コ  
レクション(千葉市美術館寄託)



11. 長澤蘆雪・曾道怡《花鳥蟲獣図巻》寛政7年(1795) 千葉市美術館蔵



12. 鳥文斎栄之《三福神吉原通い図巻》文化期(1804-18)頃 千葉市美術館蔵

# 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

## ■写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1申込について1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館  
広報担当 磯野 行

FAX : 043-221-2316

E-mail : isono@ccma-net.jp

貴社名 :

媒体名 :

ご担当者名 :

発行予定日 :

TEL :

発行部数 :

FAX :

定価 :

Email :

掲載予定コーナー名等 :

画像到着希望日 : 月 日 時まで

画像の掲載サイズ (おおよそで結構です  
例: 5cm 四方、など) :

## ■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

### 前川千帆展

1. 前川千帆《少女》1927年頃 公益財団法人平木浮世絵財団蔵
2. 前川千帆《屋上風景》1931年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵
3. 前川千帆《湖の見える室》1932年頃 千葉市美術館蔵
4. 前川千帆《山雀と少女》1955年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵
5. 前川千帆《朝の浴場》1951年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵
6. 前川千帆《新京の影画芝居》1958年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵
7. 前川千帆《のじり湖》(『幼年の友』第16巻第8号)1924年 個人蔵
8. 前川千帆《おてんばチャッピー6》(『よみうり少年新聞』103号、1934年7月8日)夜鳥文庫蔵

### 江戸絵画と笑おう

9. 中村芳中『光琳画譜』より 享和2年(1802)刊 千葉市美術館(ラヴィッツ・コレクション)
10. 仙厓義梵《鍾馗図》江戸後期 旧ピーター・ドラッカー山荘コレクション(千葉市美術館寄託)
11. 長澤蘆雪・曾道怡《花鳥蟲獸図巻》寛政7年(1795) 千葉市美術館蔵
12. 鳥文斎栄之《三福神吉原通い図巻》文化期(1804-18)頃 千葉市美術館蔵

## ■「平木コレクションによる 前川千帆展」 プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談ください。)

チケット送付先

ご住所 : 〒

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央 3-10-8

広報担当: 磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <https://www.ccma-net.jp/>

平木コレクションによる

# 前川千帆展

SENPAN MAEKAWA

記者レクチャー 7月12日(月) 15:00～17:00 8階展示室にて

報道関係の皆様を対象に披露説明会および内覧会を行います。  
展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

[タイムスケジュール(予定)]

- 14:30～ 記者レクチャー会場開場
- 15:00～ 「前川千帆展」担当学芸員より展示室にてご説明
- 15:40～ 「江戸絵画と笑おう」担当学芸員より展示室にてご説明
- 16:00～17:00 自由内覧

参加ご希望の方は下記項目にご記入の上、

**FAX: 043-221-2316** または **E-mail: isono@ccma-net.jp**

までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail